

カラダから 自分らしい生き方をつくる

カラダのメンテ

事業内容／成長期アスリートのスポーツ障がい
予防・再発予防事業

代表者／山本 葵

所在地／松本市蟻ヶ崎4-9-5 MKビル2階

連絡先／0263-87-3087

URL／<https://karada-no-mainte.com/>

活用した補助金・支援制度等

長野県ソーシャル・ビジネス創業支援金

企業の現状及び支援の経緯

代表者は、ジュニアアスリートのスポーツ障がいに関する課題に対して、根本的解決や予防・再発予防を目的としたサービスが必要であると感じ、オリンピック選手やトップアスリートに提供するボディケアやトレーニングサポートを老若男女全ての方へ届けること、ジュニアアスリートがスポーツを楽しみながら成長できるような環境づくりを提供する必要があると感じ創業を決意しました。創業準備の中でソーシャル・ビジネス創業支援金を知り、活用を検討したため、伴走支援員による支援を実施しました。



実施した支援内容

公募説明会に来られた時には、創業意欲は強く経験も豊富であることは理解できましたが、具体的に事業計画作成とソーシャル・ビジネス事業として、申請書への記載方法に苦悩されていました。県内にはプロ野球、プロサッカーチームがあり、高校野球、バレーボールも全国的にハイレベルにあるので多くのジュニアアスリートがいます。選手やその家族はレギュラー取りに、チームは勝利を目的としていくのでどうしても無理が重なります。

結果、ケガをすれば選手寿命にも影響を与え、チーム力も落ちることになり大勢の関係者が落胆する事になるので、それらを防止することの重要性訴求と、通院することの家族負担削減提案を推奨しました。

支援の結果及び今後の展開等

代表者は創業前から日本チームをサポートし、トップアスリートやトップチームがスポーツ障がい予防に取り組む際、一緒にコンディショニング維持やケガをしない身体づくりのトレーニング指導を行っています。そのアスリートの取り組みを目の前にしている経験からジュニア達への効果と必要性を全面的に押し出していくことで選手や家族、チームが良い結果を出せる広報活動を推進し、近隣高校チームとの契約も複数進んでいます。

今後は、副代表と連携して、アスリートのように自分をサポートするチームがある安心を感じていただけるようなサービスを届け、一人一人にあったメニューを提供していく予定です。

支援を受けて

代表 山本 葵氏

支援を受けられたことは創業に向けて大きな力になったと感じています。特に事業計画書の作成段階では支援員の方から丁寧に根気よくフィードバックをいただき、自分の事業を見直せるとも貴重な時間となりました。最終的に自分でも納得できるものが出来上がり、創業に向けた自信を得ることができました。支援金だけでなく支援員の方とのコミュニケーションも私にとっては財産になりました。

担当部署

経営支援部

〒380-0928 長野市若里1-18-1
(長野県工業技術総合センター3階)

☎ 026-227-5028

📠 026-227-6086

✉ keieishien@nice-o.or.jp